

毒物劇物取扱者試験における出題ミスについて

令和5年度に県が実施した標記試験において、出題ミスがあることが判明しました。受験者並びに関係者の皆様には、多大な御迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、概要及び対応については以下のとおりです。

1 概要

令和5年7月25日に実施した令和5年度毒物劇物取扱者試験（農業用品目）における出題85問中2問（「取り扱い」問64及び「実地」問66）において、正答とする選択肢がないことが判明しました。（出題した問題等は別添のとおりです。）

2 対応

- ① 毒物劇物取扱者試験（農業用品目）問64について、当初正答としていた3以外を選択した受験者に加点しました。
- ② 毒物劇物取扱者試験（農業用品目）問66について、当初正答としていた5以外を選択した受験者に加点しました。
- ③ 上記により、改めて合否判定を行ったところ、新たに1名が合格となりました。合格者へは謝罪した上で、合格証を発行しました。

3 再発防止策

問題・正答のチェックを複数人で行うなど体制を強化し、再発防止に努めてまいります。

●令和5年度毒物劇物取扱者試験（農業用品目）「取り扱い」の出題ミスは以下のとおりです。

問62～問65 次の物質の廃棄方法として、最も適するものを下欄から選びなさい。

問62 ブロムメチル

問63 アンモニア

問64 1・3-ジカルバモイルチオール-2-(N・N-ジメチルアミノ)-プロパン塩酸塩
(別名 カルタップ)

問65 クロロピクリン

下欄

- 1 水酸化ナトリウム水溶液等でアルカリ性とし、高温加圧下で加水分解する。
- 2 可燃性溶剤とともに、スクラバーを備えた焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。
- 3 還元剤（例えば、チオ硫酸ナトリウム等）の水溶液に希硫酸を加えて酸性にし、この中に少量ずつ投入する。反応終了後、反応液を中和し多量の水で希釈して処理する。
- 4 少量の界面活性剤を加えた亜硫酸ナトリウムと炭酸ナトリウムの混合溶液中で、攪拌し分解させた後、多量の水で希釈して処理する。
- 5 水で希薄な水溶液とし、酸（希塩酸、希硫酸など）で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。

※出題ミスの内容

問64において、3（還元法）を正答としたが、厚生労働省が発出している「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準について（その6）」（平成3年3月6日薬発第259号）では、燃焼法（そのままあるいは水に溶解して、スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴射し、焼却する。）と規定されているため、正答の選択肢として不適切であった。

●令和5年度毒物劇物取扱者試験（農業用品目）「実地」の出題ミスは以下のとおりです。

問66～問69 次の物質に関する記述について、最も適するものを下欄から選びなさい。

問66 塩素酸ナトリウム

問67 シアン化ナトリウム

問68 モノフルオール酢酸ナトリウム

問69 硫酸タリウム

下欄

- 1 白色の粉末、粒状又はタブレット状の固体。水溶液は強アルカリ性。酸と反応すると有毒かつ引火性の物質を生成する。
- 2 無色の結晶。水には溶けにくいだが、熱湯には溶ける。0.3%以下を含有し、黒色に着色され、かつ、トウガラシエキスをを用いて著しくからく着味されているものは普通物である。
- 3 白色の結晶。水、アルコールに可溶である。潮解性を有する。この物質を水に溶かし、硝酸銀を加えると、白色の沈殿を生成する。
- 4 白色の重い粉末で、吸湿性がある。冷水には溶けやすいが、有機溶媒に溶けない。殺鼠剤として使用される。
- 5 無色無臭の白色の正方単斜状の結晶。水に溶けやすい。強い酸化剤で、有機物、硫黄等の可燃物が混在すると、加熱、摩擦又は衝撃により爆発する。潮解性を有する。

※出題ミスの内容

問66において、5を正答としたが、「無色無臭の白色の正方単斜状の結晶。・・・」と記載しており、明らかに矛盾しているため、正答の選択肢として不適切であった。